

ビールの「敵」を次の成長戦略に キリンHDが乳酸菌で一大攻勢

財界

ZAIKAI
a Japanese business biweekly

SMBC日興証券
相場操縦事件の教訓
『稼ぐ人達』に組織が
引きずられた理由

2022 4/6

◎インタビュー
日本総合研究所会長
寺島 実郎
元内閣官房副長官補
兼原 信克
USEN-NEXT
HOLDINGS 社長 CEO
宇野 康秀

これからのおffice需要、そして生き方・働き方は
時代
環境激変の
ヒューリック会長・西浦三郎の危機管理学
オフィス賃貸に加え、介護、学童保育に注力する理由

木戸 真幹 桜田 博文



表紙の人
ヒューリック会長
西浦 三郎

撮影 齋田 勤



いけだ・よしお

大阪医科大学卒業。1996年大阪医科大学附属病院形成外科入局。
同大学附属病院形成外科病棟医長、東海大学病院形成外科・美容外科臨床助手を経て、2000年大阪いけだクリニック開院。
04年銀座いけだクリニック開院。現在は東京皮膚科・形成外科
科総院長の他、東海大学病院形成外科非常勤講師、一般社団法人
人・JAAS日本アンチエイジング外科学会理事長を持つとともに、

「カード促進」ってあるじゃないですか？ 「カード入会しませんか」みたいな。あれで全国1位になつたんです。

池田 何か秘訣があつたんですか？

高橋 たぶん愛想が良かつたからですかね。「お願ひします！」みたいな感じで、特に中高年の男性の方に可愛がられました。でも、全国1位を取つても時給が30円しか上がらなかつたので、やっぱり自分でやつた方がいいなと思って、18歳で埼玉県熊谷市から上京しました。

高橋さんはどうしてこの業界に入つたんですか。

高橋 YouTube業界に入ったのは4年ぐらい前です。もともとはインター ネット関係の仕事をしていました。IT業界に入ったのは、新しい市場だったので一番を取れるかなって思つたからです。

例えば僕がいくら不動産業の知識を話しても「何言つてんだ、ガキが」ってなりますけど、インターネットの話だと「高橋君、教えてよ」となりやすかつたですからね。

でも、いかんせん、IT業界が倒

さないといけないのはアマゾン、グーグルといった大企業の黒船なので、これはやっぱり一番取るのは難しいなと思い、ちょうど次のポジションでニングに来そうだったYouTubeの業界に入りました。

池田 インターネット系の会社は、いつ立ち上げたんですか。

高橋 25歳頃です。もともとは僕、16歳で独立して、高校も三ヵ月で中退したんです。カードゲームのムシキングが流行った時にクワガタの値段が高騰したので、友達とプレハブでパラワンヒラタクワガタっていう

のを育ててインターネットで売つていたんですよ。日本では輸入があまりされていなかったんですか。い Crawford ただったので、おかげで 16 歳で年収が 1000 万円を超えた。池田 その時はもうパソコンが使っていたんですか。高橋 僕はそれほどできなくて、タピングも怪しいぐらいだったんですが、友人が得意だったので、インターネットでオークションに上げてくれたりしました。その後はムシキングが流行らなく

広告、ホームページ制作——会社からYouTube業界に転身

店オーナーが詐欺にあったので、立て直しの手伝いをして、一応5店舗ぐらいまで1年ちょっとの間に増やしました。その後、25歳で初めて自分で立ち上げたのが一ト会社です。広告やホームページの制作をしていました。

その後はエンジニア派遣会社も興しました。従業員は150人ぐらいまで増えて年商も5・6億円ありました。しかし、労働収益型ってあまり楽しめないなと思っていたところに、インターネットメディアの会社の役員にヘッドハンティングされたんです。

広告・ホームページ制作——会社からYouTube業界に転身

そこからフリーランスでスキンケアやエステサロンの営業代行をしたり、弁当屋でバイトしたり、いろんなことをして、22歳でサービスエリアの商品をネット販売する会社にヘッドハンティングされ、そこで雇われ社長として23、24歳まで働きました。

結局、仕事がきつくて、置き手紙を書いて夜逃げしました（笑い）。

池田 僕、こういう人、好きなん

YouTubeは、誰でも 一人で立ち上げる事が できるテレビ局です。

東京皮膚科・形成外科 総院長 株式会社Guild代表取締役
池田 欣生 ~~X~~ **高橋将一**

今回のゲストはYouTube業界の最大手Guild代表取締役・高橋哲也さんです。近年YouTuberは若い人たちに人気を得て、その影響は既成のテレビ局を脅かす存在になつていて。高橋社長のGuildは、日本最大のエージェント型クリエイター支援企業でチャンネル数は約400チャンネル、その他高橋社長はアパレル業にも進出。RAD」と合わせて年商130億円を展開している。YouTubeとは何か、その現状と未来など起業家精神旺盛な弱冠34歳の高橋社長と対談する。

16歳の時クワガタビジネスで年収一千万円

池田 今日は株式会社Guild（ギルド）代表取締役の高橋将一さんにお越しいただきました。ギルドはYouTuberをサポートする会社ですね。僕は新しいビジネスをしている今一番すごい会社だと思っています。高橋さんは人気YouTuber、ヒカルさんのマネージャーであり、番組も制作していますね。

またタレントの「宮迫博之さんと中田敦彦さんの「Win Win Wiin（双赢双赢双赢）」とか「有頂天レストラン」も制作しています。



たかはし・まさかつ

2019年Guildを設立。日本最大のエージェント型クリエイター支援企業、YouTubeチャンネルサポート数は約400チャンネルとアパレルブランド「ReZARAD」で年商130億円。

やすいう世代が分かれています。なので、テレビは年齢層が高い人たちに対してはいまだに受けていると思うんですよ。

ただ、全部の年齢層の人たちが見ると、どういったことを前提としてテレビ局は広告設計をしているから、苦しいんですね。

視聴率が下がっているのに、高給取りの人たちがいっぱいいるような形で設計してしまっているんで。人數を無駄にかけず、給料も無駄に多くしなければ、回っていくのに。贅沢しすぎたしわ寄せがきているだけだと思いますね。テレビ局は断捨離が必要です。YouTubeはもともと少人数でできるので、5人分ぐらいいだけの収益を稼げばいいから儲かります。

テレビ局は5人で済むYouTubeを30人でやっている状態ですね。

池田 YouTubeは毎日やっていると飽かるじゃないですか。テレビって例えば連続ドラマは週に1回しか見ないけど、YouTubeはみんな毎日見に来るから、そこを飽きさせないっていうのがすごい才能だなって思いますね。

高橋 YouTubeって熱狂的なファン以外は全部見ないんですよ。ネタ

を書いて、その記事から商品が買えるECサイトに飛べるみたいなことをセットでやっている会社です。そうしている時に今度はYouTube業界の会社「VAN」にヘッドハンティングされ、そこでYouTuberのヒカルさんに出会ったわけです。

池田 入った時のYouTube業界ってどんな感じだったんですか。

池田 今後はどんなことをしていくたいですか。

高橋 僕は今が年商130億ぐらいですけど、一番大きいのはYouTubeの広告代理店業で、それ以外にもアパレルも行っています。でも僕が今、やりたいなと思っているのはブランド広告。イメージを良くする宣伝を打つ広告ですね。ブランド広告ってあまりまだインターネット広告に予算が下りてきてないんです。

池田 例えば、今の若い子って、車の業界のことをよく分かっていないと思うんですよ。それは何でかというと簡単で、僕たちまでの世代は子供の時から車のテレビCMを見ていましたよね。

でも今は車のメーカーは車好きなクルマ系YouTuberのところには広告を流すけど、それ以外には広告か

やすいという世代が分かれています。なので、テレビは年齢層が高い人たちに対してはいまだに受けていると思うんですよ。

ただ、全部の年齢層の人たちが見ると、どういったことを前提としてテレビ局は広告設計をしているから、苦しいんですね。

池田 高橋さんは現在34歳。僕らの時は、最初はサラリーマンとして社会人になって、安い給料で頑張って10年ぐらい働いて、それで独立と一緒に起業がしやすいと思うんです。僕たちはおそらくもつといっぱい起業していましたと思います。

池田 他にもしたいことはありますか。

高橋 もし余力が残っていれば、世界でチャレンジしたいなっていうのがあります。今、グーグルのサービスでYouTubeをやっていますが、手数料30%抜かれるじゃないですか。だから、自分たちが世界にチャレンジすることによって、日本にちゃんとお金が入るような仕組みを作りました。

池田 期待しています。

高橋 池田先生は僕が初めて会つた時、マッドサイエンティストだと

株式会社Guild

東京都千代田区丸の内1-6-5 丸の内北口ビルディング9階WeWork内

H P <https://guild.to/about>

東京皮膚科・形成外科銀座院

〒104-0061 東京都中央区銀座2-11-8 ラウンドクロス銀座 3F

TEL 03-3545-8000 H P <https://www.251901.net/>

せた男」と言われているんですよ(笑)。池田 今までの芸能界だったら、その人は芸能界で食べていけなくなるから、辞めるなど言われていましたよね。それがインターネットが生まれたおかげで、芸能界に変化が起きたんですね。

高橋 YouTubeというのは小さなテレビ局なんです。だから収益がダイレクトに入ってくるので、タレントとしてキャスティングされて払われるのとは、取り分が違うんですよ。でも今、YouTubeにこそって芸能人が参入していますけど、みんな失敗しているんです。それは難しいからなのです。YouTubeを成功させるのってプロデュース能力が本当に必要なんです。番組を運営していく能力が問われますから。

高橋 当時は芸能人もいなかたですし、こんなに大きい市場になるとは思いませんでした。新型コロナウイルス感染症の影響が大きかつたですね。芸能人が事務所を辞めて芸能界を干されるというケースが相次いでいる時期でもありました。

僕が干された彼らをYouTubeで成功させたので、僕は社会的には「芸能プロダクションビジネスを崩壊さ

ります。でも、高橋さんたちはコメントを見せて、それでもつといいものを作り上げていく。まあ、既成のテレビ局はまたちょっと違います。だからYouTubeとテレビとどちらが上かというよりは、年齢層が高い人がテレビを見て、年齢層が低い人がYouTubeを見るということですね。

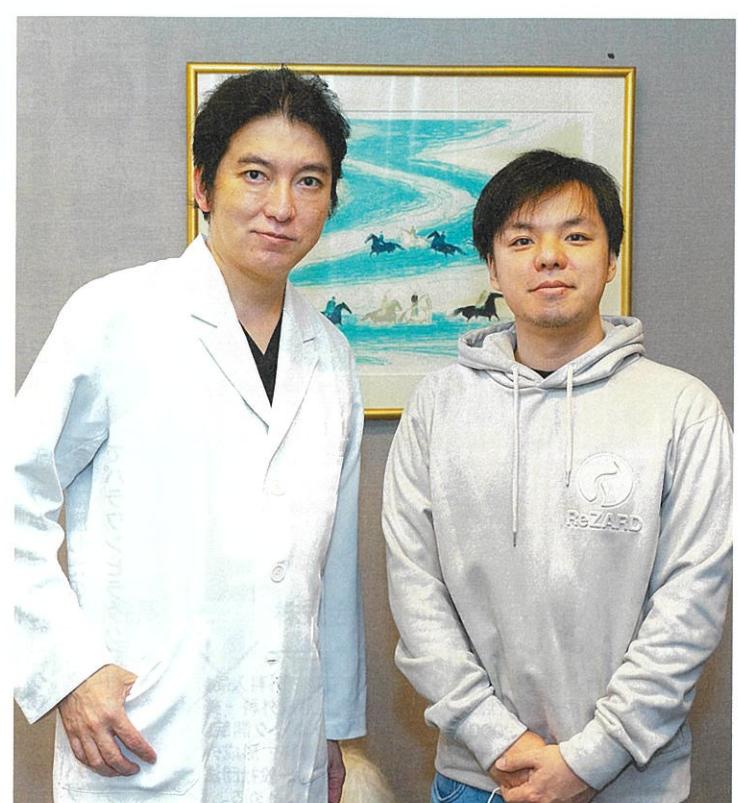
高橋 僕がやり始めたら、チャンネル登録者がどんどん増えて100万人まで行きました。僕がやっていないですか。その方が今の若い子は憧れると思うんですね。

池田 昔は会社を立ち上げる時に銀行から融資を受けて初期費用がかっていましたが、今つてそうした初期費用がかからないから、時代的に起業がしやすいと思うんです。僕たちは同じルールだったら、昔の人たちはおそらくもつといっぱい起業していましたと思います。

池田 他にもしたいことはありますか。

高橋 もっと言うと、スマートフォンを小学生の時から渡されて使ってきた子と、大きな画面のテレビの方が見

ることとは、クリエイティブなことを考えるというより分析なんです。YouTubeとの相性や過去のデータ、コメント欄を観ることで、どういうものを視聴者が求めているかが分かるので、それに合わせて企画を考えていきます。



池田 僕らは昔から会社をやるにしても何にしても、まず夢があるて、その夢に向かって頑張っていくんですけど、社会がその夢を認めたら成功で、認めなかつたら失敗だつたんですね。

でも、高橋さんたちはコメントを読むんですね。みんなが書き込むコメントを見て、それでもつといいものを作り上げていく。

高橋 YouTubeは情報が集まるので、考える材料になりやすいんですけど、コメントを見せて、それでもつといいものを作り上げていく。